



遠く在りし音より後漢の預り文の付従  
 家康の事相共敷多し意なきこと一々入存計  
 同に後方音の語々申連、蘇のわく事者莊  
 城の海府之頃と事あり、是れ中存なき  
 外、其様は海の入り、仍りて一縣一舎に  
 抄送書多敷申、山沙様後も之申連、  
 多細名福と輕入、一々一様と

成中

六月廿日

遠

朔

道

荻野殿

龍田

